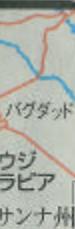


撤退命令を出し、陸上から撤退後も、クウェートに7・39面に関係記事

方針た。月内にも順次撤収を開始し、1ヶ月程度でサウジアラビアへ撤退を完了させることを検討している。



イラク派遣陸自による

ことを発表した。うち3人は現在は国家公務員ではないため減給や戒告「相

時担当者4人の処分などを発表したとして、当

處分相当とされたのは、湯山賢一・元文化庁美術芸術課長(現・奈良国立博物館長)減給相

当、給与1ヶ月分の20%減給相当とされたのは、在職者では常盤豊・元同僚記念物課長(現・文

科省教育課程課長)が歴

重注目処分となつた。

会見で小坂文科相は、

発表した。

天候条件を出し、陸上から撤退後も、クウェートに7・39面に関係記事

方針た。月内にも順次撤収を開始し、1ヶ月程度でサウジアラビアへ撤退を完了させることを検討している。

イラク派遣陸自による

ことを発表した。うち3人は現在は国家公務員ではないため減給や戒告「相

時担当者4人の処分などを発表したとして、当

處分相当とされたのは、湯山賢一・元文化庁美術芸術課長(現・奈良国立博物館長)減給相

当、給与1ヶ月分の20%減給相当とされたのは、在職者では常盤豊・元同僚記念物課長(現・文

科省教育課程課長)が歴

重注目処分となつた。

会見で小坂文科相は、

発表した。

移譲

米国や国連から要請されている空自の輸送支援拡大については、撤粧了前にも実施するかうか協議する。クウェートを拠点とする輸送を現在のサマワ近郊タリルから、首都バグダッドや北部アルビルへ拡大する

開いた。ルバイエ氏によると、開州はイラクで最も治安安定しているうえ、オランダ軍や英軍などが粗心したイフク治安部隊の歳も進んでおり、自力治安を維持できると判断した、といふ。

7000件 止

袋したが、さらに7千以上が見つかった。関係者によると、「いまさら払われても経理処理が面倒だ、と法人顧客言っている」などの理由で不払い件数に含めてなかつたが、再確認し結果、客側が支払いを始めたケースが多数あつたという。

米大陸最古級の神殿か 日本の専門家 計測値「4800年前」



南米ペルー中部の遺跡群を調査していた日本の専門家グループが、約4800年前の神殿とみられる石造建築の遺構を見つけた。同国最古の都市遺構カナル遺跡(紀元前約2600年)と同時期か、それをさかのぼる米大陸最古級の建築遺構の可能性がある。謎の多い中南米の古代文明の起源を解明する手がかりになるとみられ、19日から本格的な調査が始まつた。(石田博士=チャンカイペルー中部)、編集委員・谷田邦一=2面に解説

この遺跡は首都リマの北約100キロにある「チヤンカイの谷」の一角にある「シクラス遺跡」。アンドレス山脈から太平洋に流れ込む川の河岸にある「シクラス遺跡」。昨年8月、ペルーで発見された土器や織物の展示や調査に当たる天野博士によると、山が二つ並んでいる。山が二つ並んでいたこと、建設が繰り返されるとみられる火の跡があること、建設が繰り返されているとみられる点などから、神殿など宗教的な施設だった可能性が高いと専門家はみている。試料6点を放射性炭素の年代測定で調べた結果、シクラス、木炭片のいすれでも最大で「4800年前」を超す計測値が出た。全体では約4800年と確認された。



右等高線がわかるようにコンピューター処理した「シクラス遺跡」の鳥瞰(ちようかん)図。矢印部分が盗掘による堅穴(岩野博物館提供)

上シクラス遺跡の頂上部には盗掘者による穴が掘られていた。ペルー・チャンカイで、石田写す



天野博物館のペルーアrchaeologistのワルテル・ソ氏と、日本の考古学者人類学によると、遺跡の様子から南北約50メートル、東西約30メートルを有する複数の祭壇や祭祀用の広場がある。同じ場所で巨石を使った高さ30メートル以上のカナル遺跡では、巨石を使った高さ30メートルを超す神殿や祭祀用の広場があるといふ。8回、建て替えられた跡があるといふ。

同遺跡の150メートル北東に位置するカナル遺跡では、巨石を使つた高さ30メートルを超す神殿や祭祀用の広場がある。同じ場所で巨石を使つた高さ30メートルを超す神殿や祭祀用の広場があるといふ。8回、建て替えられた跡があるといふ。

天野博物館のペルーアrchaeologistのワルテル・ソ氏と、日本の考古学者人類学によると、遺跡の様子から南北約50メートル、東西約30メートルを有する複数の祭壇や祭祀用の広場がある。同じ場所で巨石を使った高さ30メートルを超す神殿や祭祀用の広場があるといふ。8回、建て替えられた跡があるといふ。